

7. 途中で協力を辞退したくなった場合は、やめることができますか？

途中で何らかの事情により、本モデル事業への協力を辞退したくなった場合には、やめることもできます。担当の助産師に申し出てください。その後のケア等については、当院あるいは日赤医療センターで、一般の妊婦さんと同様に受けることができます。






















また、本事業の途中で、疑問や不安が生じた場合には、遠慮なく、助産師に申し出てください。一緒に解決の方法を考えていきます。

8. 費用はいくらになるのですか？

健診の回数や入院日数によって異なります。また産褥のケアは、実施する内容によっても異なります。この資料の後ろに目安となる金額を示していますので、助産師と相談しながら計算してみてください。おおよその目安がわかります。

ここからは、モデル事業の進め方と費用について、詳しく説明します。

1. モデル事業の進め方

月数 週数	初期	3 10W	4 5 11-19W	6 20W	7 21-29W	8 30W	9 31-35W	10 36-37W	出産	入院	産後
助産院	ご協力の依頼  助産師も日赤へ 日赤助産師へ引継ぎ	助産院で健診・ケア 	助産院で健診・ケア 	助産院で健診・ケア 	助産院で健診・ケア 	助産院で健診・ケア 	助産院で健診・ケア 	助産院にて引き継ぎケア 	助産院にて引き継ぎケア 	助産院にて引き継ぎケア 	満足度等を把握  産後約3か月で完了
日赤医療センター	説明と同意 	日赤医療センターで健診 	日赤医療センターで健診 	日赤医療センターで健診 	日赤医療センターで健診 	日赤医療センターで健診 	日赤医療センターで健診 	日赤医療センターで健診 	日赤医療センターで出産 	日赤医療センターにて：原則1日～3日 その後、助産院でケア 	

協力助産院の募集
運営規則等の取り決め

①ご協力の依頼

当院からモデル事業の説明をいたします。ご協力の意向がある場合に、日赤医療センターの外来を受診していただきます。

②助産院での健診、退院後のケア

今後の助産院での健診や退院後のケアは、当院にて行います。

③通院定期健診

20週、30週、36-37週の定期健診は、日赤医療センターで受診していただきます。

日赤医療センターでは、あなたの担当となる助産師がチームを編成し、健診に立ち会う場合は、当院の助産師と十分な引継ぎを実施します。

○日赤医療センターでの通院定期健診については、担当の助産師と相談の上、予約をとり、受診して下さい。待ち時間を短縮するため、なるべく早い時間帯に予約を入れることをおすすめいたします。

④出産

出産は日赤医療センターで行います。

その際、当院の助産師が、可能な場合には出産に立ち会い、出産介助を行います。詳しくは、マタニティノートを参照していただきますが、緊急時に対応できる装備を整えた上での家庭的な雰囲気での出産となります。

日赤医療センターでは、担当となる助産師のチームを編成し、出産に立ち会う場合は、当院の助産師と十分な引き継ぎを実施します。

また、胎児のモニターは必要に応じて実施いたします。

⑤産後

産後の経過に特に問題がない場合、日赤医療センターにご希望に応じて1日～3日（ただし、妊婦さんの状態でご希望にそえない場合もあります。）入院していただきます。その後、当院に通院していただくか、入院していただくこととなります。

また、産後、当院及び日赤医療センターにおけるケアや健診、出産について、満足度等のご意見をうかがいます。うかがったご意見は、本調査研究の成果に反映させていただきます。出産後、約3か月で、本調査研究へのご協力は完了となります。

○受診の際の持ち物

助産院、あるいは日赤医療センターを訪れる際は、母子手帳、及びマタニティノートをお持ち下さい。マタニティノートは健診した結果が記入されております。記録は、複写式になっており、自分のお手元と助産院、および日赤医療センターが保管しますので、緊急の場合にスムーズに対応できます。

2. 費用

本モデル事業にご協力頂ける場合、出産にかかる費用（ただし初診費用を除く）はおおよそ下記のとおりになります。

(例) 妊娠 15 週で当センターで初診を受け、モデル事業に参加した場合

在宅妊婦健診（ご自宅）	5回
通院定期健診（日赤）	5回（超音波検査4回、ドプラ1回、NST2回）
入院（日赤）	1日
早期新生児健診（日赤、ご自宅）	2回（生後1日目、5日目(ガスリー検査)）
在宅ケア（ご自宅）	3回（乳房マッサージあり、沐浴サポートあり）
1か月健診（日赤）	1回（赤ちゃんの健診、生後1か月）
1か月半健診（日赤）	1回（お母さんの健診、産後1か月半）

在宅妊婦健診 （ご自宅）	基本料	5,300円	×（5）回	26,500円	
	ドプラ	400円	×（5）回	2,000円	
	（助産師出張）交通費（実費）			+交通費	
通院定期健診 （日赤）	基本料	3,500円	×（5）回	17,500円	
	超音波検査	3,000円	×（4）回	12,000円	
	またはドプラ	400円	×（1）回	400円	
	NST	3,000円	×（2）回	6,000円	
分娩料等		310,760円	×（1）回	310,760円	
入院料	（普通室の場合、食事代含む）		×（1）日	21,540円	
	1日あたり		21,540円		
新生児介補料	1日あたり		4,110円	×（1）日	4,110円
早期新生児 健診（日赤、 ご自宅）	（生後1日目）		×（1）回	1,000円	
	（生後5日目）ガスリー検査		×（1）回	5,000円	
	（助産師出張）交通費（実費）			+交通費	
在宅ケア （ご自宅）	母乳育児サポート・沐浴サポート		×（3）回	45,000円 +交通費	
	12,000円				
	乳房マッサージ				
	3,000円 （沐浴がない場合 -2,000円） （助産師出張）交通費（実費）				
1か月健診 （日赤）	（赤ちゃんの健診）		5,500円	×（1）回	5,500円
1か月半健診 （日赤）	（お母さんの健診）		3,500円	×（1）回	3,500円
		（検査等を除く）			
合計			460,810円+交通費（実費）		

あなたの場合、費用がどれくらいになるか、担当の助産師と相談しながら、計算してみてください。

在宅妊婦健診 (ご自宅)	基本料	5,300円	× () 回	円
	ドプラ (助産師出張) 交通費 (実費)	400円	× () 回	円 + 交通費
通院定期健診 (日赤)	基本料	3,500円	× () 回	円
	超音波検査	3,000円		
	または ドプラ	400円		
	NST	3,000円		
分娩料等		310,760円	× (1) 回	310,760円
	ハイリスク分娩*			(30,000円)
	新部屋使用料金*			(25,000円)
入院料**	(普通室*の場合、食事代含む)		1日	21,540円
			2日	42,480円
			3日	63,420円
新生児介補料	1日あたり	4,110円	× () 日	円
早期新生児 健診 (日赤、 ご自宅)	(生後1日目)		× (1) 回	1,000円
	(生後5日目) ガスリー検査		× (1) 回	5,000円
	(希望者のみ) 聴力検査***		× (1) 回	6,700円
在宅ケア (ご自宅 または 助産院)	母乳育児サポート・沐浴サポート	12,000円	× () 回	円 + 交通費
	乳房マッサージ (沐浴がない場合 -2,000円) (助産師出張) 交通費 (実費)	3,000円		
入院料 (助産院)	1日あたり (おおよそ)	18,000円	× () 日	円
	(入院料金、食事代含む)			
1か月健診 (日赤)	(赤ちゃんの健診)	5,500円	× (1) 回	5,500円
1か月半健診 (日赤)	(お母さんの健診) (検査等を除く)	3,500円	× (1) 回	3,500円
合計				円 + 交通費 (実費)

* 分娩の際、ハイリスク分娩の場合、新しい部屋を使用した場合は、費用が加算されます。
また、日赤医療センターに入院の際、個室を使用した場合は、費用が加算されます。
詳しくは、ご退院の際、病棟の師長にご確認ください。

** 入院料につきましては、日数により費用が異なります。

*** 聴力検査は、平日のみの実施となっております。

＜本モデル事業についての問い合わせ先＞

○助産院

○日本赤十字社医療センター

担当：看護部

〒150-8935 東京都渋谷区広尾4丁目1番22号

電話（代表）：03-3400-1311

Fax：03-3409-1604

E-mail：nurse@med.jrc.or.jp

（＜妊婦訪問事業・産科＞の件名で、メールを送信して

下さいますようお願い申し上げます。なお、メール本文には必ずお名前とご連絡先を記載して下さい。）

I A-050208

最後に、本モデル事業にご協力頂けるかどうかについて、お聞かせ下さい。

本モデル事業に協力することについて、どう思いますか。

1. ぜひ協力したい
2. もう少し詳しく話を聞いて、検討したい
3. あまり興味がない

上記、「1. ぜひ協力したい」または「2. もう少し詳しく話を聞いて、検討したい」と回答された方には、後日連絡を差し上げる場合がありますので、以下にお名前とご連絡先、連絡方法をご記入ください。なお、この情報は他の目的には用いることはなく、皆さまのプライバシーには十分に配慮を行いますので、安心してご記入ください。

お名前	
ご住所	
電話	() -
F A X	() -
電子メール	
その他 連絡先	電話 () - 勤務先・携帯・その他 ()
連絡方法	1. 電話 2. F A X 3. 電子メール

また、さらに詳しく知りたい内容、不安なこと等がありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。



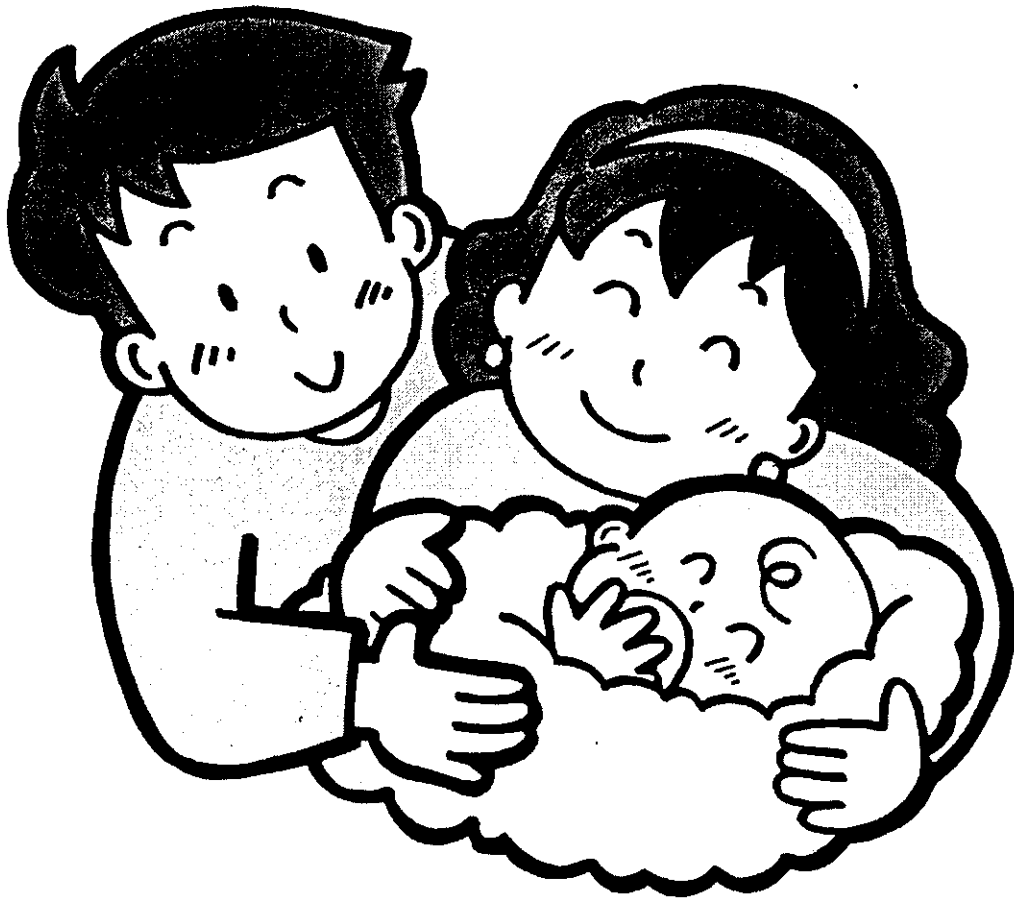
I A-050208

(モデル2用)

助産院と日本赤十字社医療センターの産科オープンシステム

モデル事業 ご協力のお願い

～ もっと安全で快適に出産するために ～



 **日本赤十字社医療センター**
JAPANESE RED CROSS MEDICAL CENTER

産科部長 杉本充弘

2004年11月1日

日本赤十字社医療センター

産科部長 杉本充弘

助産院と日本赤十字社医療センターの産科オープンシステム

モデル事業 ご協力をお願い

日本赤十字社医療センター（以下、日赤医療センター）では、よりよい出産のあり方を模索していくため、地域助産院との連携による産科オープンシステムのモデル事業を実施することになりました。

少子化、核家族化という時代背景の中で、妊娠・出産・育児に不安をかかえる妊婦さんは少なくありません。しかし、現在の産科医療はその不安に十分に応えているとはいえません。

本モデル事業は、日赤医療センター産科部長 杉本充弘を主任研究者とする平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金による研究事業*の一環として行われており、地域助産院と病院が連携を深める新スタイルの産科施設をつくり、妊婦さんの安全で快適な出産をサポートすることを目的としています。

つきましては、趣旨をご理解のうえ、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

* 厚生労働科学研究費補助金とは

厚生労働省が、医療や福祉の発展等のために研究者に提供する補助金です。研究結果は報告書として取りまとめて公開され、今後の医療や福祉のために役立てられます。本モデル事業名は、平成 16 年度厚生労働科学研究（医療技術評価総合研究事業）「医療安全を考えた産科施設の安全と質に関する研究」です。

1. どのような事業なのですか？

地域の助産院と日赤医療センターが協力をを行いながら、妊婦さんの安全で快適な出産をサポートします。

これまでの出産は多くの場合、安全性に比重を置いた病院と家庭的なケアを重視した助産院とがそれぞれ独立して対応してきました。そのため、安全で快適な出産を求める多くの妊婦さんは二者択一を迫られてきました。

本モデル事業では地域助産院と病院が連携した新スタイルの産科施設を作り、妊婦さんの安全で快適な出産をサポートすることを目指しています。

2. 具体的にはどのように進めるのですか？

在宅妊婦健診（通院定期健診以外の、月1回程度の健診と生活の援助）は、日赤医療センターの助産師（2-3人のチーム）または、日赤医療センターが協力を依頼した地域の助産師のケアをご自宅で受けていただきます。

ただし、通院定期健診（20週、30週、36-37週）は、日赤医療センターの外来で行います。（状況によっては、このほかにも日赤医療センターの外来で受診していただく場合もあります。）

また、出産は日赤医療センターで行い、出来る限りこれまで担当してきた助産師が出産介助を行います。まれに別の助産師が出産介助を行うこともありますが、その際には引き継ぎを十分に行い、訪問で実施してきたケアの連続性を尊重します。

出産後は、ご希望に応じて1日から3日間程度での退院となり、その後はご自宅に帰られるか、地域の助産院へ転院して、担当の助産師のケアを受けていただきます。

詳しくは5ページ以降をご覧ください。

* 妊婦さんにメリットになること

- 1 担当助産師が継続的にかかわることで、妊娠・出産・育児に不安をもつ妊婦さんをサポートします。
- 2 出産は、緊急時にも迅速に対応できる人的・物的準備の整った日赤医療センターで、家庭的な雰囲気を尊重した中で行われます。
- 3 特に、二人目、三人目の妊娠で、上の子どもを育てながら、妊婦健診のために日赤医療センターまで通院するのが困難な方にとって、何回かの妊婦健診をご自宅あるいは地域助産院で受けることができます。

3. 具体的にはどのようにモデル事業を進めるのですか？

日赤医療センターを受診し、妊娠の経過に大きな問題がないと考えられる（ローリスク）方のうち、お住まい等を考慮してこの資料をお渡ししています。

モデル事業に協力してもよいという方には、さらに詳しく話し合う場を持った後に、承諾書にサインをしていただき、日赤医療センターに登録します。

その後、担当の助産師を決め、在宅妊婦健診に伺います。

4. 妊娠の途中や出産の際に、予期しない事態が発生した場合には、どうなりますか？

日赤医療センターで、必要と思われる医療処置を行うなど、責任をもって対応します。ただし、モデル事業の対象者の方はローリスクの方としていますので、モデル事業の対象ではなくなる場合もあります。

5. そのほかに何か協力することはありますか？

本モデル事業はよりよい出産のあり方を目指しており、皆さんからのご意見をもとに出産のシステムやケアについての課題をみつけ、フィードバックしていくことが必要です。そのため、妊娠中にアンケート調査を実施したり、お話をうかがうことがあります。また、出産後3か月程度の時期に、経験された内容について、改善した方がよい点、よかった点などについて個別にお話をうかがったり、同じモデル事業に参加された方たちのグループでお話をうかがいます。

なお、皆さんへのアンケート調査やインタビュー調査は、株式会社 UFJ 総合研究所の研究員が実施します。

6. 自分の名前が公表されたり、プライバシーが侵されることはありませんか？

本モデル事業では、個人のプライバシーを尊重し、十分に配慮を行います。

お話をうかがう際に録音等の記録をとらせて頂く場合がございますが、氏名等、個人が特定される情報が、外部に公表されたり、もれたりすることはございません。また、本調査研究から得られる情報につきましては、研究以外の目的には使用いたしません。

7. 途中で協力を辞退したくなった場合は、やめることができますか？

途中で何らかの事情により、本モデル事業への協力を辞退したくなった場合には、やめることもできます。訪問を担当している助産師に申し出てください。その後のケア等については、助産院あるいは日赤医療センターで、一般の妊婦さんと同様に受けることができます。

また、本事業の途中で、疑問や不安が生じた場合には、遠慮なく、助産師に申し出てください。一緒に解決の方法を考えていきます。

8. 費用はいくらになるのですか？

健診の回数や入院日数によって異なります。また産後のケアは、実施する内容によっても異なります。この資料の後ろに目安となる金額を示していますので、助産師と相談しながら計算してみてください。おおよその目安がわかります。

ここからは、モデル事業と費用について、詳しく説明します。

1. モデル事業にご協力いただく方は、次のように進めます。

月数 週数	初期	3		4		5		6		7		8		9		10		出産	入院	産後	
		10W	11-19W	20W	21-29W	30W	31-35W	36-37W													
妊婦さんの自宅	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア	日赤助産師による訪問健診・ケア または出張専門助産師による訪問健診・ケア
日赤医療センター	ご協力の依頼 ご協力の依頼・説明と同意	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師	日赤医療センターで健診 医師と助産師
																					満足度等を調査 産後約3か月で完了

①ご協力の依頼

日赤医療センターを受診した方のうち、対象者に該当すると判断された方について、モデル事業についての説明をいたします。

②在宅妊婦健診

あなたのご自宅で、日赤医療センター助産師、あるいは出張専門の開業助産師による在宅妊婦健診を行います。日赤医療センターでは、あなたの担当となる助産師のチームを編成して対応いたします。

③通院定期健診

20週、30週、36-37週の通院定期健診は、日赤医療センターで行います。

その際、日赤医療センターの助産師が健診に立ち会います。

○日赤医療センターでの通院定期健診については、担当の助産師と相談の上、予約をとり、受診して下さい。待ち時間を短縮するため、なるべく早い時間帯に予約を入れることをおすすめいたします。

④出産

出産は日赤医療センターで行います。

その際、日赤医療センターの担当の助産師が出産介助を行います。詳しくは、マタニティノートを参照していただきますが、緊急時に対応できる装備を整えた上での家庭的な雰囲気での出産となります。また、胎児のモニターは実施いたします。

⑤産後

産後の経過に特に問題がない場合、日赤医療センターにご希望に応じて1日～3日（ただし、妊婦さんの状態でご希望にそえない場合もあります）入院していただきます。その後、以下のいずれかの方法でケアを受けていただきます。

- 1) 日赤医療センターの助産師による在宅ケア
- 2) 地域の助産師による在宅ケア
- 3) 地域の助産院への入院

また、産後、助産院及び日赤医療センターにおけるケアや健診、出産について、満足度等のご意見をうかがいます。うかがったご意見は、本調査研究の成果に反映させていただきます。出産後、約3か月で、本調査研究へのご協力は完了となります。

○受診の際の持ち物

助産院、あるいは日赤医療センターを訪れる際は、母子手帳、及びマタニティノートをお持ち下さい。マタニティノートは健診した結果が記入されております。記録は、複写式になっており、自分のお手元と助産院、および日赤医療センターが保管しますので、緊急の場合にスムーズに対応できます。



2. 費用

本モデル事業にご協力頂ける場合、出産にかかる費用（ただし初診費用を除く）はおおよそ下記のとおりになります。

（例）妊娠 15 週で当院で初診を受け、モデル事業に参加した場合

助産院での健診（助産院）	5 回
通院定期健診（日赤）	5 回（超音波検査 4 回、ドプラ 1 回、NST 2 回）
入院（日赤）	1 日
早期新生児健診（日赤、助産院）	2 回（生後 1 日目、5 日目（ガスリー検査））
退院後のケア（助産院）	7 回（乳房マッサージあり、沐浴サポートあり）
1 か月健診（日赤）	1 回（赤ちゃんの健診、生後 1 か月）
1 か月半健診（日赤）	1 回（お母さんの健診、産後 1 か月半）

助産院での健診（助産院）	基本料（おおよそ）	3,500円	×（5）回	17,500円
	ドプラ	400円	×（5）回	2,000円
通院定期健診（日赤）	基本料	3,500円	×（5）回	17,500円
	超音波検査	3,000円	×（4）回	12,000円
	またはドプラ	400円	×（1）回	400円
	NST	3,000円	×（2）回	6,000円
分娩料等		310,760円	×（1）回	310,760円
入院料	（普通室の場合、食事料含む）		×（1）日	21,540円
	1日あたり	21,540円		
新生児介補料	1日あたり	4,110円	×（1）日	4,110円
早期新生児健診（日赤、助産院）	（生後 1 日目）		×（1）回	1,000円
	（生後 5 日目）ガスリー検査		×（1）回	5,000円
退院後のケア（助産院）	母乳育児サポート・沐浴サポート		×（7）日	105,000円
	乳房マッサージ	15,000円		
	（乳房マッサージなし -3,000円） （沐浴なし -2,000円）			
1 か月健診（日赤）	（赤ちゃんの健診）	5,500円	×（1）回	5,500円
1 か月半健診（日赤）	（お母さんの健診） （検査等を除く）	3,500円	×（1）回	3,500円
合計				511,810円

あなたの場合、費用がどれくらいになるか、担当の助産師と相談しながら、計算してみてください。

助産院での 健診（助産院）	基本料（おおよそ）	3,500円	×（ ）回	円
	ドプラ	400円	×（ ）回	
定期健診 （日赤）	基本料	3,500円	×（ ）回	円
	超音波検査	3,000円		
	またはドプラ	400円		
	NST	3,000円		
分娩料等		310,760円	×（1）回	310,760円
	ハイリスク分娩*			(30,000円)
	新部屋使用料金*			(25,000円)
入院料**	（普通室*の場合、食事代含む）		1日	21,540円
			2日	42,480円
			3日	63,420円
新生児介補料*	1日あたり	4,110円	×（ ）日	円
早期新生児 健診（日赤、 助産院）	（生後1日目）		×（1）回	1,000円
	（生後5日目）ガスリー検査		×（1）回	5,000円
	（希望者のみ）聴力検査***		×（1）回	6,700円
退院後のケア （ご自宅 または 助産院）	母乳育児サポート・沐浴サポート 乳房マッサージ 15,000円 （乳房マッサージなし -3,000円） （沐浴なし -2,000円） （助産師出張）交通費（実費）		×（ ）回	円 +交通費
入院料 （助産院）	1日あたり	18,000円*	×（ ）日	円
1か月健診 （日赤）	（赤ちゃんの健診）	5,500円	×（1）回	5,500円
1か月半健診 （日赤）	（お母さんの健診） （検査等を除く）	3,500円	×（1）回	3,500円
合計				円

* 分娩の際、ハイリスク分娩の場合、新しい部屋を使用した場合は、費用が加算されます。
また、日赤医療センターに入院の際、個室を使用した場合は、費用が加算されます。
詳しくは、ご退院の際、病棟の師長にご確認ください。

** 入院料につきましては、日数により費用が異なります。

*** 聴力検査は、平日のみの実施となっております。

＜本モデル事業についての問い合わせ先＞

日本赤十字社医療センター

担当：看護部

〒150-8935 東京都渋谷区広尾4丁目1番22号

電話（代表）：03-3400-1311

Fax：03-3409-1604

E-mail：nurse@med.jrc.or.jp

（＜妊婦訪問事業・産科＞の件名で、メールを送信して

下さいますようお願い申し上げます。なお、メール本文には必ずお名前とご連絡先を記載して下さい。）



II-050208